



## 豊かな自然と歴史を後世に！～長谷毛原寄合会～

黄金色のススキで有名な生石高原がある紀美野町。同町の長谷毛原（はせげばら）地区で地域おこしを活発に展開している「元気長谷毛原会」。豊かな自然と歴史を後世に伝えようという取り組みをご紹介します。

**元気長谷毛原会 主催イベント**

### 秋の里山まるごと体験

2016 10月30日 日曜日

雨天延期

8:30	受け付け開始
9:00	開会式
9:10	健康づくり講座
9:10	サイクリング『内生都比売神社まで行ってこよう』
9:10	ウォーキング『古道を歩こう』
10:10	軽トラ市（出店）
11:00	長谷毛原ふるさと講座
13:00	クラシックカー展示
13:00	アマチュアバンド / 『C・R・S』 / 『和歌山』他
13:00	和太鼓演奏 / 美皇太鼓楽『鼓響』 / 子供太鼓楽『鼓響』他
13:00	和太鼓体験
13:00	三味線演奏『あつみ会』
14:00	餅まき
16:00	

**開催日時** 10月30日（日曜日）  
**集合場所** 毛原小学校旧校舎運動場

**大募集中!**  
元気長谷毛原会が主催する秋のイベントにお店を出してみませんか!

**地域の様々な団体が集結!**  
長谷毛原地区は高山のふもと、紀美野町の東端に位置し、紀ノ川支流で水のきれいな貴志川が流れる山間部にあります。

この地域には、豊かな自然や先人が歩んできた歴史や文化・芸術など、後世に伝えていきたい魅力あるものがたくさんあります。そんな地元を愛し守っていきたくという想いをもち、団体や個人が集まり「元気長谷毛原会」が結成されました。

おとし、和歌山県と紀美野町の支援のもと「過疎集落再生・活性化支援事業」の指定を受け、古き良き景観の木造建築である毛原小学校の旧校舎を拠点に地域おこし活動を展開しています。

地域住民のつながりを強め、地区以外の人たちにも地域を知ってもらいたいという想いから、春夏秋冬、一年を通じて田舎を感じられるイベントを企画し開催しています。

このうち「伝統文化継承事業」では、長谷毛原地域を題材にした「今昔物語」を作成し各家庭に配布しました。この本は長谷毛原在住の2人、元高校教諭の森下誠さんが執筆し、助野梓さんがイラストを加え協力し完成させたそうです。老若男女問わずとても好評とのこと。



長谷毛原今昔物語「村の明け暮れ」

紀美野町は町をあげて移住・定住の支援をおこなっていますが、元気長谷毛原会でも移住を希望される方がいきなり地域のなかに飛び込んで住むには不安があるだろう、と「移住お試し住宅」を設けており、過疎化対策にも積極的に取り組んでいます。

**長谷毛原会 まるごと体験!**  
10月30日には、毛原小学校旧校舎で年間において最大のイベントである「秋の里山まるごと体験」が開催されます。

専門家による健康づくり講座や、森下誠氏による古道ウォーキングと歴史ふるさと講座、世界遺産の丹生都比売神社まで景色を楽しむ「ポタリング」など、体を動かせるメニューがあります（なお、ウォーキングやポタリングへの参加には保険代など500円が必要）。その他にも、地元で収穫した野菜や加工品などを売る軽トラ市や、紀美野町を拠点に活動する「鼓響（こきょう）」と「鼓響ジュニア」

「過疎集落再生・活性化支援事業」による事業は来春終了しますが、事業終了後も高齢化や過疎化などの地域課題解決と地域の維持・活性化のため活動が発展・持続的に展開されるよう、取り組みを進めています。

「過疎集落再生・活性化支援事業」による事業は来春終了しますが、事業終了後も高齢化や過疎化などの地域課題解決と地域の維持・活性化のため活動が発展・持続的に展開されるよう、取り組みを進めています。



地元の産物が並ぶ軽トラ市



「鼓響」による和太鼓演奏

### みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- 世界遺産シンポジウム【祈りと共生の世界遺産】  
高野参詣道の世界遺産追加登録目前！今一度学びませんか。  
日時 10月23日（日） 13:30～16:00  
場所 かつらぎ町総合文化会館大ホール  
内容 記念講演「漫画『陰陽師』と丹生都比売神社」（漫画家・岡野玲子さん）、パネルディスカッション「祈りと共生の世界遺産」  
参加費 無料（当日先着順）  
問い合わせ かつらぎ町教育委員会（0736-22-0303）
- 秋を楽しむ！ブランド紀の川柿収穫体験&吊るし柿作り  
めったに体験ができない「紀の川柿」の収穫ができます。  
日時 10月29日（土） 9:00～12:00  
集合場所 ふうの丘（紀の川市平野927）  
内容 収穫と吊るし柿づくり体験。柿の試食も。  
参加費 2,000円（小学生未満は無料、事前申し込み必要）  
締切 10月24日（月）  
問い合わせ・申し込み 中谷農園（0736-79-6500、FAX 0736-79-6501）
- 秋を楽しむ！ブランド紀の川柿収穫体験&吊るし柿作り  
めったに体験ができない「紀の川柿」の収穫ができます。  
日時 10月29日（土） 13:30～17:00  
場所 和歌山県立図書館メディア・アート・ホール  
内容 映画と落語の鑑賞、専門家の講義など  
出演 桂花園治さん、木川剛志さん（和歌山大学観光学部准教授）ほか  
参加費 無料（当日先着順）  
問い合わせ わかやま楽落会（090-2100-8263・内海さん、メール nope930@gmail.com）  
このほかの情報もたくさん掲載！「わかやまイベントボード」URL  
PC版 http://eventboard.shiminjuku.jp/ 携帯電話版 http://eventboard.shiminjuku.jp/m/
- 子ども歴史探訪ウォーク  
南海道の四国への渡り口であった加太の歴史的重要性などを学びます。小中高校生対象。  
日程 10月29日（土） 9:30～16:00  
集合場所 南海加太駅  
内容 約6kmのウォーキングをしながら万葉歌を学ぶほか、昔の塩作り体験も  
参加費 無料（申し込み必要）  
申込み 市民の力わかやままで 名前・住所・電話番号・年齢を FAX（073-428-2688）かメールで（kinokawa@shimin.or.jp）。  
問合せは電話（073-428-2688）。
- 地域プロデュース講座  
映画と落語を題材に地域プロデュースのあり方を学びます。  
日時 10月29日（土） 13:30～17:00  
場所 和歌山県立図書館メディア・アート・ホール  
内容 映画と落語の鑑賞、専門家の講義など  
出演 桂花園治さん、木川剛志さん（和歌山大学観光学部准教授）ほか  
参加費 無料（当日先着順）  
問い合わせ わかやま楽落会（090-2100-8263・内海さん、メール nope930@gmail.com）  
このほかの情報もたくさん掲載！「わかやまイベントボード」URL  
PC版 http://eventboard.shiminjuku.jp/ 携帯電話版 http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

**秋の里山まるごと体験**  
日時 10月30日（日）9:00～16:00（雨天時は延期）  
場所 毛原小学校旧校舎・運動場（紀美野町毛原中689）  
詳しくは「元気長谷毛原会」でウェブ検索してFacebookページをご覧ください。  
電子メール ghasekebara@gmail.com

Facebook ぽつぽつ!!

元気長谷毛原会 ghasekebara@gmail.com

### ろうきん社会貢献プロジェクトすまいる エイブル・アート近畿2016 ひと・アート・まち和歌山 来週開幕!

- たなべ会場  
【日時】11月18日（金）～20日（日） 各日10時～18時  
【会場】レストラン「ララ・ロカレ」（田辺市上屋敷町、旧・紀伊田辺電車区（JR紀伊田辺駅東隣））  
【内容】警察署跡をリノベーションした「ララ・ロカレ」では障がいのある方の作品を多数展示。  
旧・紀伊田辺電車区では「紀の国トレイナート2016」（http://www.trainart.jp/）とコラボし、鉄道にまつわる作品を展示します。駅前では「ボズック楽団」のパフォーマンス（20日13時）、観光ボランティアによる街なか巡り（19日・20日の11時・14時から各90分を予定）も。
  - わかちか会場  
【日時】10月28日（金）～30日（日） 各日10時～18時  
【会場】わかちか広場（JR和歌山駅前）  
【内容】県内外からのアート作品の展示のほか、10月4日に開催したワークショップの作品展示、和歌山市内のゲストハウス「RICO」で実施したアートプロジェクトの記録の展示など。  
29日・30日には「描く」「創る」「音で遊ぶ」をテーマにした参加型ワークショップを開催（10時、13時、15時から各1時間）。ちんどん集団「ボズック楽団」のパフォーマンスも（29日13時）。
- くわしくは、一般財団法人たんぼの家のウェブサイト（http://tanpoponoye.org/）. お問い合わせ・申込制イベントのお申込みもこちらから。  
※都合により一部内容が変更になることがあります。



主催：近畿労働金庫 企画：一般財団法人たんぼの家  
後援：和歌山県、和歌山市、田辺市、和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、田辺市教育委員会、和歌山県社会福祉協議会、和歌山市社会福祉協議会、田辺市社会福祉協議会、和歌山県労働者福祉協議会、全労済和歌山県本部、和歌山県生活協同組合連合会、テレビ和歌山、朝日新聞和歌山総局、毎日新聞和歌山支局、読売新聞和歌山支局、産経新聞社、わかやま新報、ニュース和歌山、紀伊民報  
協力：田辺地域労働者福祉協議会、わかやま市民生活協同組合、和歌山中央医療生活協同組合、和歌山生協病院、特定非営利活動法人わかやまNPOセンター、一般社団法人共助のまちづくり協会、特定非営利活動法人和歌山芸術文化支援協会、社会福祉法人一妻会妻の郷、特定非営利活動法人かたつむりの会、一般社団法人M.A.P.、地域活動支援センター櫻、社会福祉法人つづきき会・哲人会